

令和元年度

# 岡山県立博物館協議会

## 第1回 開催要項

### 1 開会

### 2 議題

#### (1) 令和元年度事業について

- ア 展覧会
- イ 教育普及事業
- ウ 入館状況

#### (2) 第2次岡山県立博物館中期目標の達成状況について（平成30年度）

#### (3) その他

- ・来館者アンケート集計結果について
- ・県立博物館耐震改修工事等について

### 3 閉会

日 時：令和元年9月4日(水) 10:00～12:00

会 場：岡山県立博物館 講堂

(1) 令和元(平成31)年度事業について

ア 展覧会

令和元年9月4日現在

	第1室 (考古)	第2室 (歴史・美術)	第3室 (通史・特別陳列ほか)	第4室 (備前焼・刀剣・工芸)	オープン スペース	2階ホール
(3/26)～4/21 春季展(2) 24(27)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山中世寺院文書 岡山の仏教美術 岡山の狛犬	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 桃の節句	備前・備中・備後の刀剣 ☆<特別陳列>虫明焼	ちやぶ台の ある風景	
4/24～6/2 春季展(3) 35(40)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	豊臣政権期の岡山 木簡 岡山の仏像と神像①	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 子どもの遊びと、子どもの学び①	☆<特別陳列>犀徹 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	5/5甲冑体験
6/4～7/15 夏季展(1) 37(42)日	☆<特別陳列>岡山の三角縁神獸鏡 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山の教育と学問—関谷学校— 木簡 岡山の仏像と神像②	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 子どもの遊びと、子どもの学び②	備前刀と幕末の名刀 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
7/17～8/25 夏季展(2) 35(40)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	岡山ゆかりの古文書 木簡 岡山の仏像と神像②	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆<特別陳列> 平和の尊さみをつめなおす—子どもたちのくらしから—	よみがえった備前刀 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
8/29～10/6 企画展・秋季展(1) 34(39)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	☆企画展 「物見遊山—江戸の旅模様—」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 来た見た買った!旅模様今昔	よみがえった備前刀 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
10/11～11/10 特別展・秋季展(2) 27(31)日	☆特別展(2室) 「岡山の日蓮法華」		岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 秋まつり(特別展のため変更の可能性あり) 考古展示	備前刀(奉納刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	11/3甲冑体験
11/15～12/22 冬季展(1) 33(38)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	☆<特別陳列>岡山人物事典 国学者・藤井高尚 屏風の名品 風俗図	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 冬支度	☆<特別陳列>赤韋威鎧 備前刀(奉納刀) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	
1/1～2/9 交流展・冬季展(2) 35(40)日	古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料—	☆交流展 「正岡子規と仲間たち」	岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 後楽園の名品	備前刀(名品選) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	1/3甲冑体験
2/14～3/31 特別展・春季展(1) 42(47)日	☆特別展(2室) 「備前のある場所—取り合わせの魅力—」		岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 後楽園の名品	備前刀(名品選) 備前焼の歴史	ちやぶ台の ある風景	

## ア 展覧会

事業名	特別展「岡山の日蓮法華」	
期間	令和元年10月11日(金)～11月10日(日)	
趣旨	<p>鎌倉時代に日蓮が関東で立宗した日蓮宗は、弟子日像(にちぞう)によって京都へ、さらにその弟子である大覚妙実(だいかくみょうじつ)によって山陽地方へ伝えられた。そのため、岡山県南部には大覚を開基とする日蓮法華宗寺院が多くある。</p> <p>本展覧会では、大覚による岡山への日蓮法華宗の布教、中世期の各流派の広がり、不受不施派の禁止から再開といった、岡山ならではの日蓮法華宗の歴史と、曼荼羅や絵画に見られる美と特徴を紹介する。</p>	
主要展示資料	重要文化財 孟蘭盆御書 日蓮筆 重要文化財 大覚宛 日像書状 重要文化財 日像・大覚妙実譲状 西国門徒中宛 大覚書状 釈迦如来立像 重要文化財 釈迦如来坐像 康俊作	京都市 妙覚寺 京都市 妙顕寺 京都市 妙顕寺 岡山市 蓮昌寺 岡山市 日応寺 備前市 妙圀寺
関連行事等	(1)記念講演会 (聴講無料) 講師：中尾 堯(立正大学名誉教授) 演題：日蓮とその教団(仮題) 日時：令和元年10月13日(日) 午後1時半～3時 (2)本館学芸員による展示解説 (3)現地説明会(現地集合・現地解散・拝観料は各自御志納) ①加賀郡吉備中央町 妙本寺(日蓮宗)「日蓮宗宗門史跡 西身延」 日時：令和元年10月21日(月) 午後1時～3時 ②瀬戸内市牛窓町 本蓮寺(法華宗本門流)「国史跡 朝鮮通信使遺跡 牛窓本蓮寺境内」 日時：令和元年10月27日(日) 午後1時～3時	
備考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生以下無料 会場 第1・2展示室	

事業名	特別展「備前のある場所——取り合わせの魅力——」	
期間	令和2年2月14日(金)～3月31日(火)	
趣旨	<p>備前焼の茶道具は美術品としての評価も高く、1つの作品として単独で展示されることが増えている。しかし、本来は、他のやきものをはじめ、漆器や金属製品などとともに、茶室の中で使用されてきたものである。</p> <p>このたびの展覧会では、桃山時代から江戸時代初期の茶会記と現代の茶人の意見を参考に、備前焼の茶道具を取り合わせて展覧し、茶陶の世界に息づく備前焼の魅力を紹介する。</p>	
主要展示資料	備前水指 銘たまり水 紹鷗黒小棗 美濃志野茶碗 銘朝日影 唐物茶入 銘利休丸壺 備前花入 銘鷹ヶ峯	個人蔵 個人蔵 香雪美術館蔵 香雪美術館蔵 個人蔵
関連行事等	(1)記念講演会 (2)バレンタイン茶会 企画:茶道裏千家淡交会青年部東中国ブロック (3)ホワイトデー茶会 企画:犬島楽茶 (4)学芸員による展示解説	
備考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生以下無料 会場 第1・2展示室	

事業名	企画展「物見遊山ー江戸の旅模様ー」	
期間	令和元年8月29日(木)～10月6日(日)	
趣旨	江戸時代になると、街道や宿駅が整備され、交通の利便性は大きく向上した。やがて庶民も名勝地や寺社仏閣を訪れる旅を楽しむようになり、道中記や名所図会など刊行物も数多く出版された。とりわけ、江戸時代後期には伊勢参詣や金比羅参詣がさかんになり、そこへ至る街道も大いに賑わった。江戸の旅人たちは、旅先の風景を見て何を感じ、どのような記録を残したのか。本展覧会では、さまざまな絵図や古文書、旅道具、絵馬などを展示し、江戸時代の旅の姿をたどる。	
主要展示資料	岡山県指定重要有形民俗文化財 絵馬 おかげ参りの図 津山市指定重要文化財 出雲街道絵図 東海道風俗図屏風 往来手形	瀬戸内市 牛窓神社蔵 個人蔵 岡山県立博物館蔵 岡山県立博物館蔵
関連行事等	(1)記念講演会 ①第1回 講師：神崎宣武氏(民俗学者・旅の文化研究所所長) 演題：「伊勢参り 大神宮へもちょっと寄り 一庶民の旅のタテマエとホンネ」 日時：令和元年9月15日(日) 午後1時半～3時 ②第2回 講師：在間宣久氏(前岡山県立記録資料館館長) 演題：「江戸の旅 ー旅の現実と旅人の保護」記念講演会 日時：令和元年9月29日(日) 午後1時半～3時 (2)学芸員による展示解説	
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料 会場 第2展示室	

事業名	交流展「正岡子規と仲間たち」	
期間	令和2年1月1日(水)～2月9日(日)	
趣旨	俳句や短歌など多方面に渡って活躍した愛媛県松山市出身の正岡子規。彼は35年の生涯を通じて多くの人々と交友があった。岡山県津山市出身の大谷是空は、子規と大学予備門で同窓生となり、文学を通じて交友を続けた。子規とともに松山で共同生活をした夏目漱石は、明治25年岡山滞在時に水害に遭い、その様子を子規へ宛てている。愛媛県との交流事業2年目は、日本が近代国家へと移り変わる中、正岡子規ゆかりの資料を通してどのような交友が育まれたのかを紹介する。	
主要展示資料	正岡子規俳句書付後楽園写真 正岡子規宛秋山真之書簡 病牀六尺 第101回 大谷是空正岡子規宛て書簡 秋山真之書	松山市立子規記念博物館蔵 坂の上の雲ミュージアム蔵 松山市立子規記念博物館蔵 津山市郷土博物館蔵 愛媛県人物博物館蔵
関連行事等	(1)記念講演会 (2)ボランティアガイド (3)学芸員による展示解説	
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料 会場 第2展示室 津山市郷土博物館、吉備路文学館、犬養木堂記念館、岡山県立図書館と連携展示(予定)	

## イ 教育普及事業

事業名	ジュニア学芸員講座
期間	令和元年8月1日(木)～8月3日(土)
概要等	<p>県内の中高校生が、実物の文化財の取り扱いや調査など学芸員の基本的な仕事を体験することで、岡山の歴史と文化に関する理解を深めるとともに、将来を考える機会を提供する。</p> <p>&lt;内容&gt; 3日間の講義・実務・研修を行い、修了時に館発行の認定証を授与する。</p> <p>1日目 開講式、施設見学、文化財の取扱い(古文書、民俗資料)</p> <p>2日目 文化財の取扱い(考古・刀剣)、機器の取扱い(写真撮影)、他館訪問(林原美術館)</p> <p>3日目 文化財についての講話、閉校式</p>
参加者数	中学生 8名 高校生 12名 計20名

事業名	吉備の国ジュニア歴史スクール
期間	令和元年5月～11月
概要等	<p>県内の歴史と文化に関わる小学生向けテーマを設定し、第1日は、県立博物館での実物資料を用いた授業や展示室等の見学などにより、文化財や博物館に親しむ機会を提供する。第2日は、各学校で学習の成果をまとめ博物館と学校との連携を図る。</p>
参加校数	玉野市立八浜小学校(6年生)、玉野市立大崎小学校(6年生)、高梁市立落合小学校(6年生)

事業名	館内授業・出前授業
期間	通年(令和元年4月～令和2年3月)
概要等	<p>県内の小中高校生等が、博物館で実物の文化財に触れたり、展示を見学して学習する。また、学芸員が学校に出向いたり、古墳等の史跡見学に同行して授業を行う。</p> <p>&lt;授業テーマ例(学校からの要望に応じて対応)&gt;</p> <p>歴史 吉備の古墳の世界</p> <p>民俗 体験! 昔の暮らし</p> <p>美術 備前焼を知ろう</p>
実施校数	館内授業 35校(小14、中5、高10、大5、特1、その他1) ※8月31日現在

事業名	博物館講座
期間	令和元年6月～10月
趣旨	当館職員が講師となり学習する「スタンダードコース」と、第一線で活躍している研究者の講義により学習する「スペシャルコース」の2種類の講座を実施。(生涯学習大学連携講座) <スタンダードコース> 4日間4講座(1講座90分、日曜日に開催)、 定員 各曜日70名、受講料1000円 内容 ①岡山の日蓮法華—法華信仰と造形— ②閑谷学校の再興—閑谷精舎と山田方谷— ③神仏習合美術—絵画作品を中心に— ④幕末駐日外交官の日本コレクションと西洋工芸界への影響 <スペシャルコース> 3日間3講座(1講座90分)、 定員120名、受講料2000円 内容 ①吉備の巨石墳を考える —600年頃の政治動向をめぐって— ②秀頼時代の豊臣家 ③法隆寺の歴史と法隆寺献納宝物
受講者数	スタンダードコース 63名 スペシャルコース 107名

事業名	中学校職場体験
期間	令和元年5月～令和2月2月
趣旨	中学2年生を対象にした職場体験の受け入れ <内容> 学芸業務や受付・看視等の仕事を体験
実績	受入校 3校 参加生徒 6名 ※8月31日現在

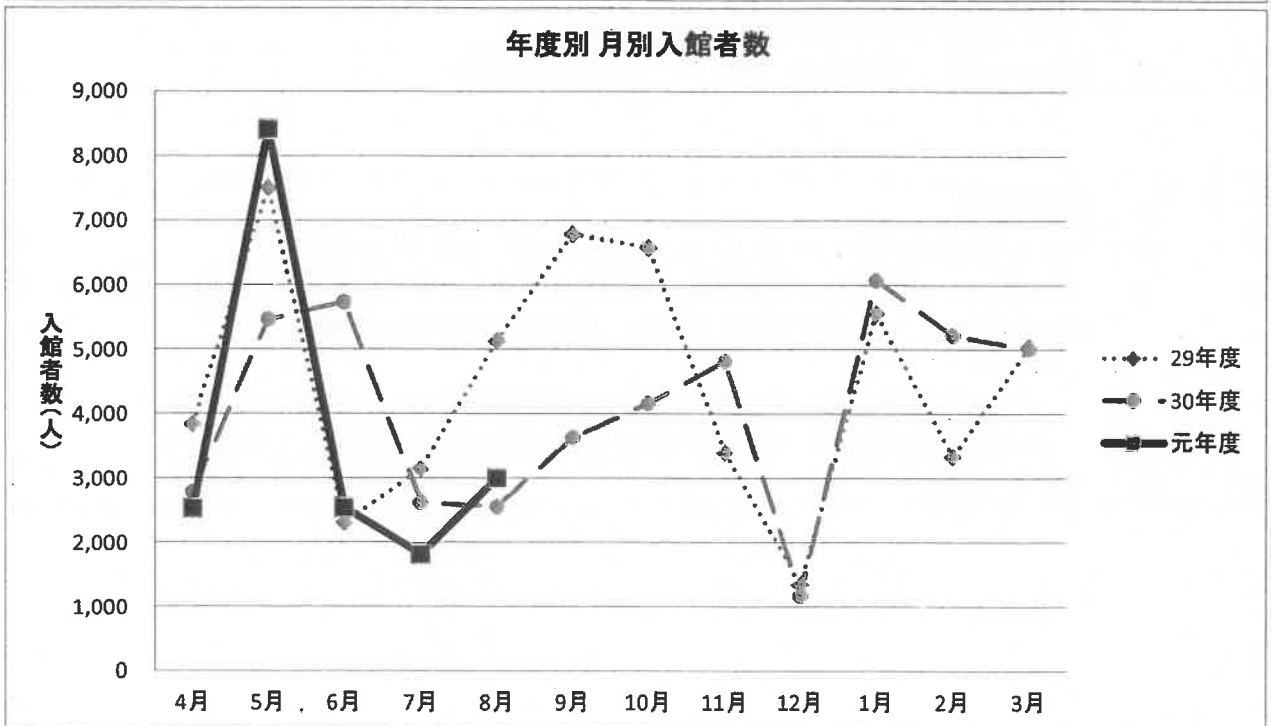
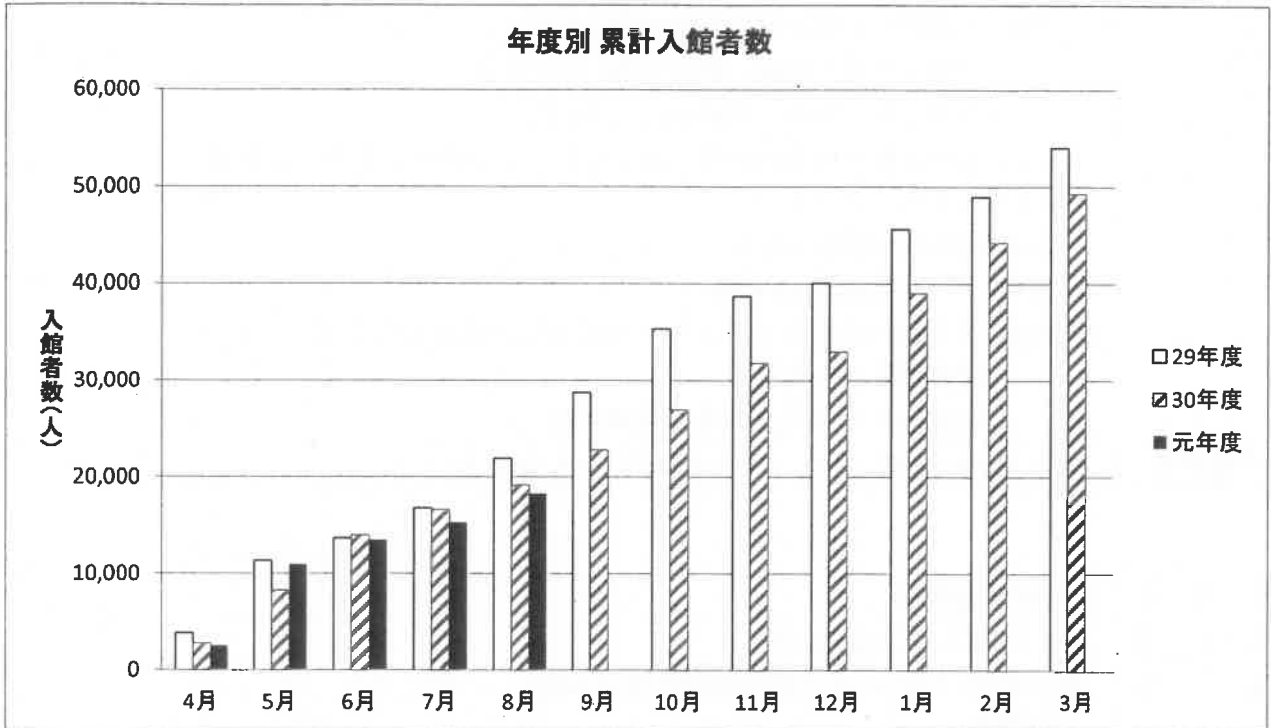
事業名	博物館実習
期間	令和元年8月20日(火)～22日(木)、9月8日(日)、9月15日(日)
趣旨	博物館法に規定する学芸員資格の習得を希望する大学生を対象に、博物館において実習の機会を提供し、人材育成に資するとともに博物館活動の普及を図る。 <内容> ①講義実習(3日間) 各分野の文化財の取り扱いを通してその特性を学ぶ ②支援実習(2日間) 博物館の行事や展示替え作業を体験して実務を学ぶ
実績	参加者 17名

ウ 入館状況

月別入館者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	8月末現在
29年度	3,837	7,512	2,311	3,146	5,138	6,799	6,582	3,414	1,350	5,560	3,349	5,046	54,044	21,944
30年度	2,787	5,472	5,736	2,638	2,556	3,632	4,165	4,825	1,180	6,077	5,223	5,016	49,307	19,189
元年度	2,533	8,419	2,544	1,816	3,002								18,314	18,314



## (2) 第2次岡山県立博物館中期目標の達成状況について

### 中期目標の達成状況評価(平成30年度)

- (1) 評価の時期 翌年度初めに実施  
 (2) 評価者 館全体で評価  
 (3) 評価区分 次の1～5段階で実施

評価区分	内 容	
5	目標水準を大きく上回った。	140%以上
4	目標水準を上回った。	110%以上 140%未満
3	概ね目標水準である。	90%以上 110%未満
2	目標水準を下回った。	60%以上 90%未満
1	目標水準を大きく下回った。	60%未満

#### (4) 結果の公表

評価結果は、「岡山県立博物館協議会」において報告するとともに、ホームページで公表します。

#### <参考> 博物館法第9条

博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

### 平成30年度の評価

項 目	H25	H26	H27	H28	H29	H30
1 資料の収集と保存・活用	3	3	3	3	3	3
2 調査・研究	3	3	3	3	3	3
3 施設の整備・管理	3	3	3	3	3	3
4 展 示	2	3	4	3	3	3
5 教育普及・学校教育との連携	3	2	3	3	3	3
6 県民参加の協働運営	3	3	3	3	3	3
7 組織・人員	3	1	3	3	3	3
総合評価	3	3	3	3	3	3

#### ■展示 H29:3 → H30:3

- ・平成30年度の入館者数は、年間で49,307人となり目標の5万人にはやや届かなかった。
- ・昨年度に比べて館内授業は増加したものの、出前授業は減少している。

#### 評価結果を踏まえた今後の課題と施策への反映

##### ハイグレードで魅力的な展覧会の開催

- 1 国・県重要文化財を年間延べ50点以上展示
- 2 調査研究に基づいた新出資料、初公開資料の展示等

##### 教育普及の充実

- 1 博物館事業についての資料の全学校への配付、あわせて、教育問題懇談会でも配付
- 2 小・中学校校長会の役員会での事業内容の説明及び積極的な利用促進の働きかけ



## 評価シート

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成30年度)	平成30年度 実施結果	評 価
1 資料の 収集と保 存・活用	資料の購入	資料の購入件数	必要に応じて予 算措置	0点/年	—
	寄付資料の受け入れ	新規寄付資料の受け 入れ件数	随時申し出に対 応	4件/年	—
	寄託資料の受け入れ	新規寄託資料の受け 入れ件数	随時申し出に対 応	8件/年	—
	資料の適切な保管	収蔵庫等の定期点検 回数	12回/年	12回/年	3
	展示室の資料保存環境 の点検	展示室等の定期点検 回数	50回/年	58回/年	4
	収蔵スペース確保の検 討	収蔵スペース確保の 検討 整理・整頓	随 時 4回/年	随 時 4回/年	3
	収蔵品の補修	収蔵資料の修復点数	2点/年	2幅冊/年	3
	資料の活用	収蔵資料展示点数	2,000件/年	1,968件/年	3
		特別観覧利用件数	150件/年	79件/年	1
平均評価					3
2 調査研 究	調査研究活動の強化	各学芸員の調査テー マの設定	6件/年 (各学芸員1テーマ)	6件/年 (各学芸員1テーマ)	3
	調査研究成果の公表	研究報告の発刊	1回/年	1回/年	3
		年報の発刊	1回/年	1回/年	3
		博物館だよりの発刊	1回/年	1回/年	3
		平常展、企画展、特別 展の開催	12回/年	11回/年	3
		博物館講座の開催	6回/年	8回/年	4
	外部研究機関等との連 携	共同研究テーマ数	2件/年	1件/年	1
平均評価					3

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成30年度)	平成30年度 実 施 結 果	評 価
3 施設の 整備・管理	安全な施設の維持管理	施設改善5カ年計画 の策定	緊急性の高い事案 から着手		—
		耐震化への取組	耐震診断の実施	改修計画の策定	—
	危機管理体制	来館者事故数	0件/年	0件/年	3
		防災訓練の実施	年2回開催	年2回開催	3
		安全衛生会議の開催	年3回開催	年4回開催	4
	利用環境の向上	入館者の満足度	90%以上	84%	3
平均評価					3
4 展 示	特 別 展	入館者数	18千人/年	15,090人/年	2
		実施回数	2回/年	2回/年	3
		中期計画策定	5カ年計画策定	5カ年計画策定	3
	企 画 展	入館者数	7千人/年	5,773人/年	2
		実施回数	1回/年	1回/年	3
		中期計画策定	5カ年計画策定	5カ年計画策定	3
	交 流 展	入館者数	7千人/年	4,282人/年	2
		実施回数	1回/年	1回/年	3
		中期計画策定	5カ年計画策定	5カ年計画策定	3
	平 常 展	入館者数	18千人/年	24,162人/年	4
		特別陳列	1回/各季節展	1回/各季節展	3
各展共通項目	関連事 業の充 実	記念講演会	1.5回以上/1展覧会	1.75回/1展覧会	4
		実演等	2.5回以上/1展覧会	0.5回/1展覧会	1
		展示解説	4回以上/1展覧会	5回/1展覧会	4
	展示方 法の改 善	キャプション  解説シート  英語・中国語・韓国語 表記	改 善  30枚  英語・中国語・ 韓国語表記	解説シート 既存42枚 15種 82枚の多言 語パネルを配置	5
平均評価					3

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成30年度)	平成30年度 実 施 結 果	評 価
5 教育普及・学校教育との連携	吉備の国ジュニア歴史スクール	実施コース数 参加児童数	2コース3日/年 90人/年	3コース2日/年 146人/年	3 5
	博物館講座 ①スタンダードコース	開設講座数 参加受講者数	4講座(2班)/年 140人/年	4講座(2班)/年 76人/年	3 1
	博物館講座 ②スペシャルコース	開設講座数 参加受講者数	4講座/年 120人/年	4講座/年 112人/年	3 3
	体験学習 ①わくわく歴史体験ゾーン	参加体験型資料の充実	平成30年度末で 40点	39点	3
	館内授業	実施学校数 受講児童生徒数	50校/年 3,000人/年	55校/年 2,052人/年	4 2
	出前授業	実施学校数 受講児童生徒数	30校/年 2,000人/年	12校/年 936人/年	1 1
	展示解説	聴講者数	20人/1解説日	57人/1解説日	5
	博物館実習	受け入れ学生数	20人/年	16人/年	2
	中学生職場体験	受け入れ学校数	10校/年	9校/年	3
	教職員研修	連携事業の実施回数 免許更新講習実施回数	5回/年 2回/年	2回/年 3回/年	1 5
	吉備の国文化遺産映像記録作成事業	作成テーマ数	30テーマ	30テーマ (H26 完成)	3
	ジュニア学芸員講座	受入生徒数	20人/年	22人/年	4
	平均評価				
6 県民参加の協働運営	広報活動	記者クラブへの資料提供件数	30件/年	26件/年	2
		マスコミ取材件数(新聞への掲載)	120件/年	231件/年	5
		広報手段の新規開拓	1件/年	1件/年	3
	アンケートの実施	アンケートの回収率	15%/年	7.4%/年	1
	ホームページの充実	HPアクセス数	200,000件/年	152,214件/年	2

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成30年度)	平成30年度 実 施 結 果	評 価	
		内容の更新頻度	週1回以上	週2回以上	5	
	岡山県立博物館友の会	友の会会員数	400人/年	343人/年	2	
		会員の継続率	前年会員の90.0%	前年会員の76%	2	
		友の会事業実施回数	40回以上	44回	4	
		特別展等観覧者率	4.0%	2.5%	2	
		ボランティア受け入れ	展示解説ボランティア 30人以上/年	11回/年 8回/年 47人/年	2 5	
		支援ボランティア 30人以上/年	10回/年 75人/年	4 5		
	地域社会と協働の展覧会の開催	共催団体数 (協賛含む)	1展覧会2団体 以上	2展覧会 2団体	3	
		連携博物館数	2博物館/年	2博物館/年	3	
	博物館協議会	協議会開催回数	2回/年	2回/年	3	
	老人福祉施設等との連携	連携施設数(館内への受入のみ)	2施設/年	0施設/年	1	
	平均評価					3
	7 組織・人員	学芸員の資質向上	研修会等への参加人数	10人/年	10人/年	3
平均評価					3	
総合評価					3	

後楽園での園内放送や多言語での掲示、館内順路・案内文の工夫や写真撮影等、博物館協議会でいただいた意見をもとに実施した対応を継続して行うとともに、中期目標を上回る入館者数を達成するため、次のような取組を重点的に行う。

① **入館者増に向けた広報、啓発の充実**

・報道機関等との一層の連携強化

報道機関をはじめ、展覧会関係者、縁故地域等に館長等の管理者が直接赴き、ポスターの展示やチラシの配付を依頼して各展覧会の広報を要請する。

・ハイグレードでインパクトのある展示

① 国県重要文化財を年間延50点以上展示（前年目標40点）

② 岡山ならではの展示

③ 調査研究に基づいた新出資料、初公開資料の展示

・カルチャーゾーン各施設及び他の教育機関との連携による広報活動

① 県立図書館の「教育の日スペシャル講座」に学芸員を派遣し、講座修了後に当館に案内して展示解説を行う。

② 古代吉備文化財センターの講座を共催開催し、講座に関連した資料を展示する。

③ 天皇陛下御即位の日について、カルチャーゾーン各施設で連携して無料開館を行い、まとめて広報することによって相互入館の促進を図る。（5/1：約3,500人）

・大学等への啓発強化

今年度加盟した大学を追加した岡山後楽園等キャンパスメンバーズ制度のポスターを作成し、大学等を訪問して食堂や掲示板に配付してもらうよう依頼する（5月）。

② **子どもたちへの教育普及（学校教育との連携）**

・館内授業、出前授業の促進

① 小・中学校長会等で説明し、館内授業や出前授業の利用促進を図るとともに、校長会等の研修会を当館へ誘致し、校長自らに館内授業の魅力を実感してもらうよう働きかけを行う。

② 博物館事業を示した資料を全学校へ配付するとともに、教育問題懇談会で資料を配付するなどして周知を行う。

③ **博物館改修工事実施に向けての着実な計画策定**

・改修工事実施設計の完成及び工事関連経費の予算要求

## (参考) 第3次岡山県立博物館中期目標の策定について

### 1 現状

第2次中期目標：平成26（2014）年度～平成30（2018）年度

（参考）第1次：平成21（2009）年度～平成25（2013）年度

### 2 現計画の延長

第2次中期目標：平成26（2014）年度～平成31（2019）年度

### 3 延長理由

- ・2020年度から2021年度まで、改修工事のために博物館を休館するため、休館までの1年間、現計画を延長する。
- ・特別展・企画展などの展覧会内容や教育普及事業等について、リニューアル後の構想を踏まえた中期目標を休館中に検討・作成することで、より実態に即した計画を立案することが可能である。

### 4 第3次中期目標（案）

期間：2022年度～2026年度

### 5 協議会での「第3次中期目標」に関する協議スケジュール（案）

- |           |                                 |
|-----------|---------------------------------|
| ① 2019年8月 | 2018年度実績報告                      |
| ② 2020年3月 | 第3次中期目標策定に向けての意見交換(フリートーキング)    |
| ③ 2020年8月 | 2019年度実績報告、<br>第3次中期目標（素案）提示、協議 |
| ④ 2021年3月 | 第3次中期目標（案）提示、協議                 |
| ⑤ 2021年8月 | 第3次中期目標（最終案）提示、協議               |
| ⑥ 2022年3月 | 第3次中期目標作成                       |

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
展示関係	← 開 館 →	← 休 館 →		← 開 館 →
工事関係	実施設計	改 修 工 事		
協議会	① ②	③ ④	⑤ ⑥	(省 略)

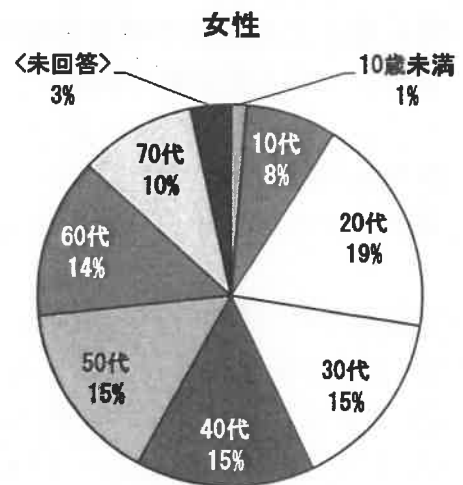
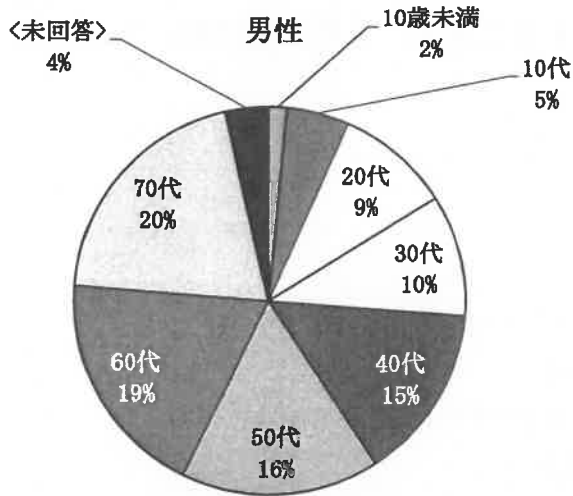
# 平成30年度 アンケート集計結果

## ◆アンケート回収率

展覧会名	会期	入館者数	アンケート数	回収率
春季展Ⅰ・Ⅱ	4/1～5/20	6,723	544	8.1%
特別展「サムライアーマー甲冑」	5/25～7/8	8,697	831	9.6%
夏季展Ⅱ・Ⅲ	7/13～9/9	4,143	362	8.7%
企画展「報恩大師信仰と寺院縁起」	9/13～10/14	5,773	502	8.7%
特別展「岡山ゆかりの肖像」	10/19～11/25	6,393	559	8.7%
冬季展Ⅰ・Ⅱ	11/30～1/14	5,631	241	4.3%
交流展「伊予の戦国時代」	1/18～2/17	4,282	332	7.8%
春季展Ⅰ・Ⅱ	2/21～3/31	7,665	293	3.8%
合計		49,307	3,664	7.4%

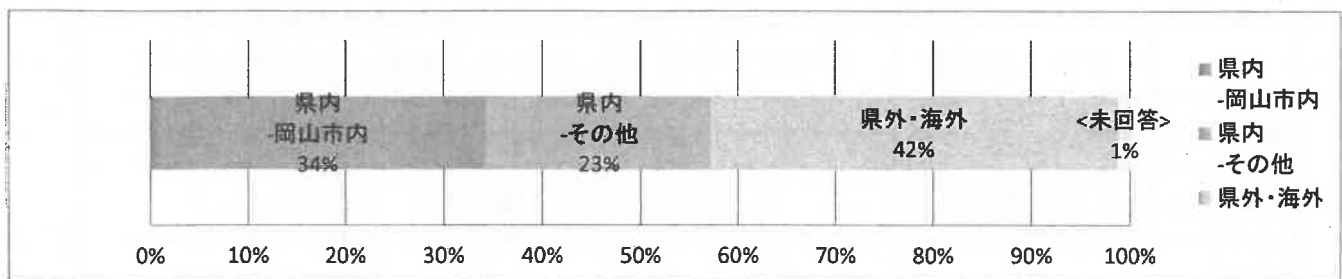
## ◆年齢構成

性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	<未回答>	性別合計
男性	34	117	214	228	330	372	429	455	82	2,261
女性	18	108	260	217	210	215	137	137	47	1,403
合計	52	225	474	445	540	587	620	592	129	3,664



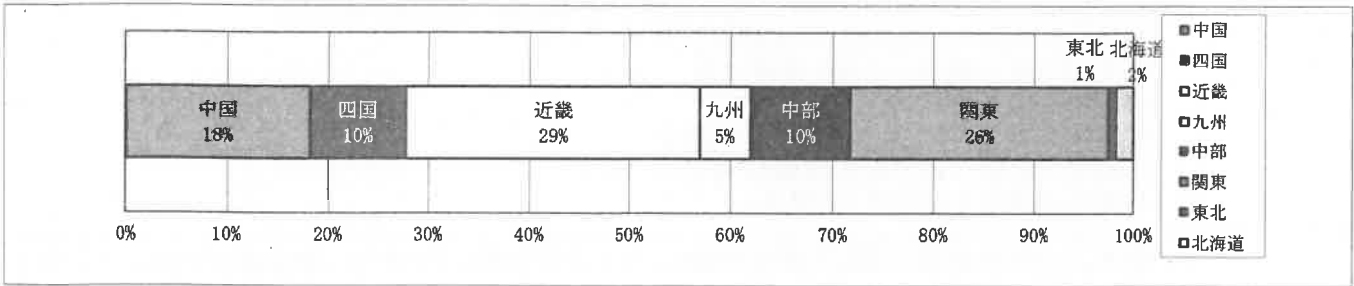
## ◆住所地一覧

住所地	県内 -岡山市内	県内 -その他	県外・海外	<未回答>	合計
来館者数	1,255	842	1,523	44	3,664



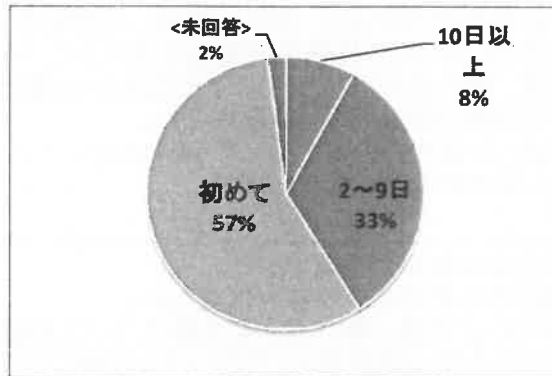
◆県外地方別一覧

地方	中国	四国	近畿	九州	中部	関東	東北	北海道	合計
来館者数	276	147	445	75	149	392	12	27	1,523



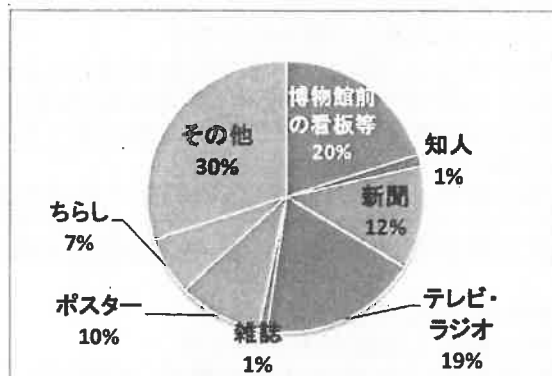
◆最近3年間の当館への来館日数

来館日数	回答数
10日以上	296
2~9日	1,208
初めて	2,081
<未回答>	79
合計	3,664



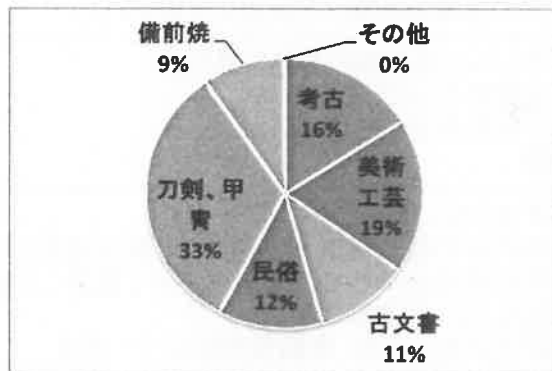
◆この展覧会を何で知ったか

広報媒体	回答数
博物館前の看板等	901
知人	61
新聞	556
テレビ・ラジオ	838
雑誌	38
ポスター	440
ちらし	311
その他	1,361
合計	4,506



◆今後どのような展覧会を希望するか。

希望分野	回答数
考古	729
美術工芸	844
古文書	501
民俗	550
刀剣、甲冑	1,485
備前焼	429
その他	6
合計	4,544





## (希望する内容)

希望分野	希望内容
考古	<p>平安後期における岡山について知る機会があると良いなと思いました。            古墳から寺院へ、飛鳥時代の岡山について            桃太郎伝承＝温羅と山城と吉備津彦            地域の仏教信仰に関するもの            岡山県の県境や離島に関する歴史展示            古墳から寺院へ(7世紀の吉備の考古について)            広島県の備後との関係(共通点)</p>
美術工芸	<p>備前刀の鉄の生産に関する展示が欲しい。どこで生産していたか、地元産か持ち込んだものかなど。            正阿弥勝義の作品が見たい(全体像)。            色んな土地の刀やかぶと、焼物を展示した展覧会が見たい。            中四国の刀、かぶと、焼物の展覧会が見たい。            金工作家、備前焼作家、刀作家の作品をもっと見たい。            中世から近世の岡山の様子も知りたい。            山田方谷・犬養木堂の書と生き方を知りたい。            幕末なら藤本鉄石展、滝善三郎展            水墨画</p>
古文書	<p>宇喜多直家の展示が見たい。            岡山藩の池田家のものがあれば見たい。            戦国時代の古文書、特に石谷家文書についての展覧会が見たい。            古代における岡山は歴史としてのロマンを感じるところが多いので、それに関する人物紹介をくわしく知りたい。            天皇の手紙文</p>
民俗	<p>明治以降の資料の展示が欲しい。            四国八十八ヶ所の善さつをみたいです。            江戸時代の文化人(岡山にゆかりのある)をピックアップして欲しい。            室町後期にスポットを当てた展示(経済など)も見てみたい(服飾や民俗などのテーマで)。            平成、昭和の出来事や、人々のくらしを振り返ってみる展示            桃太郎伝説に関わる関連用品か歴史            多種多様な獅子、狛犬の特集(備前獅子や石造りのもの)</p>
刀剣、甲冑	<p>また備前刀展が見たい。今度は大包平を岡山で見たい。あと、青江の御刀をいっぱい見たい。            刀剣乱舞とコラボして欲しい。            伊達正宗に関する刀剣がみたいです。            中、四国地方(村上水軍)の甲冑を展示して欲しい。            岡山ゆかりの刀剣展が見たい。            山鳥毛が見たい。            以前の「備前刀―日本刀の王者―」展がとてもよかったので、また展示を開催して欲しい。            宮本武蔵の展覧会を希望します。            大包平や小竜景光を借りて展示して欲しい。</p>
備前焼	<p>県内で作られた焼き物の名品を見たい。            岡山の地質をやってほしい。            直接手に触れられるものがよい。            古備前焼</p>
その他	<p>岡山のキリシタン展示が見い。            中世戦国時代の話に興味があるので、展示会をして欲しい。            岡山県内の各地区の歴史、資料を交えて紹介して欲しい。            小早川隆景氏に関するもの            池田藩関係のものなら、各殿様別にシリーズで            「岡山の鉄道(廃線含む)」「神輿の文化」「近現代の偉人等」「戦国時代の展覧」            「恐竜の化石」「絵巻物」「染織品、着物」「神社仏閣などの、木彫りのもの」</p>

◆その他、展覧会や施設などについて気づいたことは。

### <展示関係>

- ・周辺の2施設の同テーマで開催していてよかった。(サムライアーマー甲冑)
- ・観光で岡山城を見学した時にポスターで知りました。  
明治～大正にかけての時代に興味があったので、とても勉強になりました。
- ・詳しい説明の紙がたくさんあって分かりやすかったです。あと三角縁神獣鏡が好きなのでストラップがあってとても嬉しかったです！また来ます！
- ・山鳥毛目当てに来ましたが、ほかの展示も興味深かったです。はにわの形が群馬とだいぶ違うので面白かったです。
- ・山鳥毛の展示で黒背景に戻してもらえたのはうれしかったです。もし次回があるなら、独立展示360°みれるとありがたいなあと思います。
- ・フロア中心部のガラスケースの作品紹介の文字が小さくて読みづらかった。スペースに制限があるのでしょうか。
- ・私たちからすれば安く見れるのはありがたいことですが、国宝の刀が展示されているので、入館料をもっと高く(せめて300円)ぐらいにしてもよいのではないのでしょうか。県の財政からいって、今後入館料を考えてもよいのではと思います。
- ・他施設が17時閉館の中、18時まで開館しているのは助かります。
- ・秋の連休くらいまでは9:00開館してほしいです。
- ・みきゃんを用いて難しい事柄もやさしく解説してくださり、分かりやすかったです。
- ・ボランティアガイドの方に説明していただきました。勉強になりました。  
わかりやすく楽しかったです。ありがとうございました。
- ・狛犬の展示があってそのプリント資料がなかったのは残念でした。プリント資料があると帰宅しても読み返せるし理解が深まるし忘れないので、ぜひお願いします。

### <施設関係>

- ・洋式トイレ完備で感動してしまいました。素敵です。
- ・素晴らしい展示内容なのに、館が古いのがもったいない。
- ・少し室温が高い気がする。できることなら、もう少し涼しくしてほしい。
- ・館内が暗く、字が読めないところもある。
- ・クーラーの音がうるさく隣の展示ブースにいてもうるさかった。
- ・足が痛いので駐車場が遠い。

### <その他>

- ・親切でエレベータまで案内してくれました。
- ・主人がわからない所を質問しましたが、丁寧に応えて下さいました。
- ・後楽園との割引切符の案内をして下さりありがたかったです。後楽園だけでなくこちらでも購入で来たら嬉しいです。
- ・本日は、無料開館の日で年金生活者にとっては、ありがたかったです。  
できれば無料の日をふやして下さい。
- ・備前焼を使ったCAFEがほしいです。
- ・講演会に思いのほか大勢の方が来られていてびっくりしました。今後もこのような機会を作っていただきたいです。
- ・刀をみていた時私一人でしたが、看視員さんがガラスを拭いていました。汚れに気がついた時に直ぐに対処され、細かな心遣いだと感心しました。
- ・騒々しくしていた方に注意して下さったので落ち着いて鑑賞することができました。
- ・騒いでいる人に注意してほしい。
- ・施設には警備員さんがいて安心して展覧会回れます。清掃もきちんとされているのでいつ来ても快適に施設利用できます。
- ・見張りがきつすぎる。別に禁止事項を破りません。

## 県立博物館耐震改修工事等について

### 1 改修の方針

未耐震建築物の耐震補強と併せて、公開承認施設の基準を満たすために必要な改修を行い、使用を継続する。

### 2 工事の内容

- I 耐震改修
- II 屋上防水
- III 外壁改修
- IV 展示室内装改修
- V 収蔵庫改修
- VI 空調設備等の改修
- VII 展示ケースの改修

### 3 改修に向けてのスケジュール

令和元年度 実施設計 黒川建築設計事務所

令和2年度 改修工事1年目

令和3年度 改修工事2年目、展示ケース設置

} 休館

### 4 概算費用

総額6億円（個別施設計画から）

## 岡山県立博物館協議会委員

任期2年（平成31年2月5日～令和3年2月4日）

令和元年9月現在

番号	氏名	区分	現職	就任年月	備考
1	清友 尚	学校教育関係者	真庭市立月田小学校長	H30. 4	
2	小田 洋子	"	備前市立日生中学校長	H27. 2	
3	福本 まゆみ	"	岡山県立総社南高等学校長	H28. 7	
4	村木 生久	社会教育関係者	岡山県生涯学習センター所長	H29. 7	議長
5	延江 典子	"	岡山県青年団協議会副会長	H25. 2	
6	美咲 美佐子	家庭教育関係者	NPO法人岡山市子どもセンター代表理事	H31. 2	
7	中嶋 一裕	学識経験者	(株)ビザビ コミュニケーション局局长	H29. 2	
8	岡野 英美	"	NPO法人ENNOVA OKAYAMA副理事長	H29. 2	
9	岡本 隆明	"	(株)山方永寿堂代表取締役会長	H23. 2	副議長
10	光本 順	"	岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授	H26. 7	
11	三田 智子	"	就実大学人文科学部総合歴史学科講師	H31. 2	
12	伊勢崎 晃一郎	"	日本工芸会中国支部陶芸部会委員	H31. 2	
13	名木田 いづみ	"	RSK山陽放送(株)ラジオ局ラジオ営業推進部長	H28. 7	
14	清水 玲子	"	(株)山陽新聞社編集局文化部長	H26. 7	
15	鳥井 良輔	"	岡山県議会議員	H27. 6	

## 岡山県立博物館協議会条例

〔昭和46年6月25日  
岡山県条例第47号〕

(設置)

第1条 岡山県立博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、岡山県立博物館に岡山県立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(委員の任命の基準)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、20人以内とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(その他)

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和46年7月1日から施行する。

2 (略)

## 岡山県立博物館協議会運営規則

〔昭和46年7月1日  
岡山県教育委員会規則第13号〕

(趣旨)

第1条 この規則は、岡山県立博物館協議会条例(昭和46年岡山県条例第47号)第5条の規定に基づき、岡山県立博物館協議会(以下「協議会」という。)の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 協議会の会議(以下「会議」という。)に、議長及び副議長を置く。

2 議長及び副議長は、岡山県立博物館協議会の委員(以下「委員」という。)の互選により定める。

3 議長及び副議長の任期は、委員としての在任期間とする。

4 議長は、会議を主宰する。議長に事故のあるときは、副議長がその職務を代行する。

(招集)

第3条 会議は、岡山県立博物館長が招集する。

2 会議の招集は、会議開催の場所、日時及び会議に付すべき案件をあらかじめ各委員に通知して行なう。ただし、緊急の場合は、この限りでない。

(定足数及び表決)

第4条 会議は、委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(職員の説明及び資料の提出)

第5条 委員は、会議において関係職員に対して、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の出席)

第6条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は協議会が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、公布の日から施行する。

## 職 員 一 覧

### 教育委員会事務局

職 名	氏 名	備 考
文化財課長	大西治郎	

### 岡山県立博物館職員

職 名	氏 名	備 考	
館 長	山 田 寛 人		
副 館 長	塩 田 勇	(総務課長事務取扱)	
統 括 学 芸 員	中 田 利 枝 子		
総 括 参 事	竹 原 伸 之	(学芸課長事務取扱)	
総 務 課	主 任	服 部 禎 宣	
	主 任	小 島 宣 枝	(育児休業中)
	主 事	石 原 果 歩	
	主 事	富 國 ゆかり	(小島宣枝の代員)
学 芸 課	参 事	横 山 定	兼務 (岡山県教育庁文化財課本務)
	学芸員 (主幹)	重 根 弘 和	
	学芸員 (主幹)	秋 山 亮	
	学芸員 (主任)	野 田 繭 子	
	学芸員 (主任)	宇 垣 匡 雅	
	学 芸 員	西 垣 江 利 子	
	学 芸 員	岡 崎 有 紀	
	主 事	池 田 美 穂	